

The Seisenians No.35

2021年3月1日 発行 編集・発行：聖泉大学図書館

目次

- * コロナ禍における図書館利用サービスの変革を迫られた2020年
を振り返って 図書館長（看護学部 教授） 坂田 直美 …… 1
- * 私の薦めるこの一冊 …… 2
- * 私と本 …… 4
- * 前学長 小山 敦代先生を偲んで …… 5
- * 令和2年度図書館アンケート結果報告 …… 6
- * 令和2年度図書館設備の導入・改善について …… 7
- * リモートアクセスを活用しよう！ …… 8
- * 令和2年度学生図書委員・図書委員会メンバー・図書館職員と
図書館学生アルバイトからの一言メッセージ

「コロナ禍における図書館利用サービスの変革を迫られた2020年を振り返って」

図書館長（看護学部 教授） 坂田 直美

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症が日本で初めて確認されたのは2020年1月15日でした。その3カ月後の4月には全国に緊急事態宣言が発令され、学生は大学への入構が禁止となり、図書館も通常サービスが提供できなくなりました。

図書館としてまず取り組んだことは、遠隔授業を支援するためのリソースをAAや図書館HPを通じて発信することでした。幸い、各社の通学自粛を行う機関への支援で、医中誌などのリモートアクセスが可能になったことや、学術映像配信システムであるVISUALEARN CLOUDを導入しておりましたので、いつでもどこでもPCやスマートフォンで視聴できるようになっておりました。

また、4月22日からは図書や文献の無料郵送サービスを開始しました。このサービスは対面授業が可能になった時点で郵送料を有料化し継続しております。

次に、予算の見直しを行い、5月18日～7月18日の2か月間、国内で発行されている医学・医療関連の電子書籍であるMaruzen eBook Libraryの試読購読サービスを利用可能にし、購入リクエストの受付を行いました。またリモートアクセスの構築を図り、10月1日からは学外から図書館の電子リソース（医中誌、メディカルオンライン等）へアクセスできるようにいたしました。

一方、感染予防対策を徹底して行ったことは言うまでもありませんが、図書館は比較的感染リスクが低い場所であることから、感染対策のレベルが3に上がっても国家試験や大学院の受験生等、図書館を利用したい学生には柔軟に対応できるように配慮いたしました。

以上のように、2020年度は新型コロナウイルスという得体の知れない感染症と闘いながら、学生や職員の命を守り、教育の質を担保していくという難題に大学全体で取り組んできた1年でした。まだまだこの闘いは続きます。その中であって社会のIT化が急速に進むことは容易に想像できます。大学図書館の在り方もその大きな渦の中に組みこまれていくことは避けられないでしょう。その時に備えて何をすべきか、何が可能か、大きな宿題です。

最後になりましたが、前図書館長であり前学長であった小山敦代先生が昨年11月にご逝去されました。心から感謝を申し上げますとともに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。





私の薦めるこの一冊

大学院の先生にお薦めの図書を紹介していただきました。



『いのちをつなぐ』

川嶋みどり 著 看護の科学社 (2018)
図書館内の場所 492.904 || K

飽食の現代に生きる私たちは、いつでもどこで食べものを手にすることができます。この書籍は人間が口から食べることの意義について、著者である川嶋みどり先生の祖母の時代の食糧事情から、現代の医療現場における食、人間の命の根源となる食について、また命の在り方、人間の尊厳について自身の経験（子供の突然の事故死、母親の緩和ケアでの死、夫の緩和ケアでの死）、東日本大震災における多くの人の死とそこでの出会いなど、看護師として家族（母親、娘、妻）としての視点で述べてあります。今の自分自身についてこれでよいのか考えさせられることが多くあります。人間とは、生きるとは、それを支えるとは、看護師として人を支える視点を持つために、ぜひ一読していただきたいと思います。本書は経験をもとに書かれた短編であり大変読みやすく、ところどころ季節のお花の写真が掲載され、気持ちの安らぎも得られる一冊です。



大学院教授
緒方 昭子



私の薦めるこの一冊

看護学部の先生にお薦めの図書を紹介していただきました。



『看護のなかの死』

寺本松野 著 日本看護協会出版会 (1996)
図書館内の場所 492.9 || T

看護は、対象は幅広く、生命の誕生から死（見取り）を迎える方や残された家族を含めて看護支援の対象とします。特に人生の終焉を迎える患者さんとそのご家族への看護は、非常に難しく、看護者の死生観も影響してきます。核家族化が進み、死別を経験したことがない若者も増えており、学生の皆さんが終末期の看護を学び死生観を形成するのは困難であると思います。しかし、看護を学び始めた今だからこそ生と死を考え、死生観を持つことが重要です。この本は、今から36年間に刊行された書籍ですが、2001年に新装版が発刊され、現在でも販売され続けています。私も看護学生の頃にこの書籍を薦められ終末期看護について真剣に考えました。そして、将来は終末期看護のスペシャリストを目指そうと考えた原点となった書籍の1冊です。がん看護専門看護師になった今、図書館より本稿の依頼があり、再度読み返してみると、終末期看護の原点を再確認できるととても素晴らしい書籍だと改めて感じました。

学生の皆さん、ぜひこの書籍を手にとって読んでみてください。そして、終末期看護について、ぜひ一緒に考えていきましょう。



看護学部准教授
大久保 仁司





私の薦めるこの一冊

人間学部の先生にお薦めの図書を紹介していただきました。



『認知行動療法と精神分析が会ったら』

藤山直樹・伊東絵美 著 岩崎学術出版社 (2016)
図書館内の場所 146.8 || F

認知行動療法と精神分析は、日本における代表的なカウンセリング（心理療法）の理論&技法です。私の理解では、精神分析が時間をしっかりとかけて無意識領域にアプローチし、問題を「根本的に」解決するのに対し、認知行動療法は比較的短期間で意識的領域にアプローチし、「表に見える問題」を解決するというもので、相対立するものでした。ゆえにお互いを批判するところもありますが、「考え方が違えば、アプローチする対象も違う」ということで棲み分けを図りつつ、「根本的にはクライアントのためである」という共通認識をもっていた、という感じでした。

ところがこの本を読むと、もはやこの理解は古く、認知行動療法はどんどん進化を遂げ（精神分析も進化していますが）、認知行動療法が結果的には精神分析と変わらないことをやっている、もっと言えば認知行動療法が精神分析を凌ぐ勢いである・・・ということがわかります。

この本はそれぞれの理論の考え方の基本、大事にしていることがわかりやすく学べると同時に、心理士・心理師を目指す方にとって、自分が立脚したい理論とは何か？ということを考える素材となると思います。さらにこの本の隠れた、そしていちばんのテーマは「時代の流れ」ではないかとも思えます。変わりゆく時代の中で自分は何を大事にするのか、ということも考えさせられる一冊です。



人間学部准教授
谷口 麻起子



私の薦めるこの一冊

別科助産専攻の先生にお薦めの図書を紹介していただきました。



『人と比べなければ子どもは伸びる』

三田晃史 著 マキノ出版 (2020)
図書館内の場所 379.9 || M

学生図書委員さんが推薦されている本棚にこの本はあった。著者は児童精神科医で産婦人科医である。お母さん方からよく受ける相談や質問への答えを紹介したのがこの本である。本の中には「よくある質問・相談ランキング21」というのがあって、第1位は「思いどおりになるまでごねる」であった。そして、その対処法も書いてある。そういえば、我が家の息子も3歳ごろ、ショッピングモールで寝転んで泣きわめいていたな～。親としてあれはつらかった。また、悩める親たちのために「偉人たち」の成長を事例として紹介している。偉人と言っても「野口英世」や「ヘレン・ケラー」ではない。樹木希林さんや黒柳徹子さんといった方々である。子ども時代、他の子どもとの違いが大きかったが、そのような子どもに周りの大人の対応がどのようであったかを知ることが出来る。この本は、イラストもたっぷり描かれているので学生の方々や疲れた大人にも読みやすく、心も和らげてくれる本である。学生図書委員さん、これからも素敵な本の紹介を楽しみにしています。



別科助産専攻講師
前田 寿美



私と本



私が、ご紹介する小説は、東野圭吾作「容疑者Xの献身」です。特に主人公の石神哲哉に興味を持ちました。石神はIQが高く天才肌の人ですが、なにも生きがいがなく、高校で淡々と数学を教えています。友達もなく数学に熱中しているだけの毎日です。現実社会にもこんな人はいます。聡明ですが孤独な人です。

石神は、精神的に苦境に陥り自宅で自殺を試みたとき、アパートの隣の部屋に娘と二人で引っ越してきた靖子に惹かれて生きる希望を得ました。しかし、石神は、元夫に過失殺人を犯した靖子の身代わりになるため新たな殺人を犯します。これは社会心理学で指摘する、Agapeという究極の愛他的な愛だといえるでしょう。人は信仰して、どこへ行っても、盲従し、裏切り、一生苦しむ存在だといわれることがあります。石神の悲劇の種はそこにあるのかもしれませんが。

伝統的な推理小説の結末には必ず勝者がいます。犯人が見つかり探偵が勝つという暗黙の設定です。しかし、この作品には勝者がいません。とても余韻を残す名作だと思います。



人間学部 4年生
楊 珺屹



私と本



私は3回生から図書委員に入った。そこから私の本に対する価値観が変わった。私は小、中、高と野球をしており、本とは無縁の学生生活を送っていた。小学校の時には毎朝読書タイムがあったのだが、その時間が嫌で嫌で、今すぐ走り出したくなるほど辛かった。周りの友達が瞳孔をこれでもかと言うくらい見開いて本を熱心に読んでいる姿が、不思議で仕方なかった。そんな私も大学生になり、活字の多い教科書などを読む機会が一気に増えた。今まで本を読んでこなかったため、長文を読むのに凄く時間もかかるし、集中力が続かなかった。だが、この委員会に入ってから図書館を利用する頻度も増え、自然と右手には本を携えるようにもなった。本を読んでいると何もかもを忘れることができ、自分の世界に入ることができる。20歳を超えて初めて本の素晴らしさを実感することができた。また、一冊を読み終わるのに結構な時間を費やすため、自然と長文の読解力も身につけており、授業の教科書を読むのも楽になってきた。図書委員に入ったからこそ、素晴らしい本と出会うこともできたし、本に対する価値観も変わったのだと思う。今後も本は読み続けていきたい。



看護学部 4年生
小川 耀司

一学生図書委員会の活動一



Zoomでの委員会の様子



学生選書の展示



図書情報紙

今年度は、コロナ禍のため、対面での委員会ではなく、Zoomを利用して活動を進めました。それぞれができることを行い、学生選書や図書情報紙の作成も行うことができました。



前学長 小山 敦代 先生を偲んで

小山敦代先生は、本学学長に就任されるまでの3年間（2015年度～2017年度）、本学 図書館長としてご活躍されていました。同時期に私は、図書委員会の一員としてご指導いただきました。

小山先生は、図書館の全般的運営はもちろん、図書館の充実を図り、学生たちの図書館利用を増進するために常に献身的なご努力をされました。

ここに、小山先生のご指導を感謝し、追悼の一文を捧げたいと思います。

上記のごとく、小山先生は図書館長ご就任当初から「図書館の活性化」を目標に掲げられて、我々図書委員に対して、どんなことでも提案してほしいと繰り返し仰いました。

そこで私は「学生たちは図書館の主役であるので、学生図書委員会を設置すること」を提案させていただいたところ、小山先生はすぐにその提案に賛同してくださり、速やかに学生図書委員会内規も定められて、学生図書委員会が設置されました。それ以来、小山先生が目標にされてきた図書館の活性化が一段と促進されたと思います。

さらに、小山先生は「図書館の充実・活性化こそが、大学が魅力を反映することをこころして学生・教職員が一体となり情報と知、癒しと和、元気がでる図書館創りに努力していきたい」ということも書かれておられ、私は強い感銘を受けました。このようにして、図書館の機能が充実・発展してきたことは、小山先生のご尽力によるところが極めて大きいと思います。

最後に、小山先生はあの世にて、いつまでも聖泉大学と図書館のさらなる発展を祈願し見守っていただいております。

小山先生有難うございます。ご冥福をお祈り申し上げます。

人間学部 教授 李 艶



前学長
小山 敦代先生

専門分野



基礎看護学・看護教育学

主な著書

小山先生の著書は、たくさんありますがその中でも図書館にある著書を紹介します。

- ・看取りの心得と作法 共著, 医学書院, 1994年
- ・まとめてわかる看護学概論 改訂3版 編著, メディカ出版, 2011年
- ・アセスメントに使える疾患と看護の知識 編著, 照林社, 2016年
- ・ナーシンググラフィカ 基礎看護学4 看護研究 第3版 共著, メディカ出版, 2018年
- ・看護学概論—看護追求へのアプローチ— 第4版 編著, 医歯薬出版, 2018年



小山先生より2年間、国家試験受験生へエールを頂きました。今年度は、昨年度頂いたものを利用して頂きました。

前学長の小山敦代教授から国家試験受験生へのエールです

国家試験受験生へのエール

呼吸法 5(合)→「気持ち落ち着いている」5(合)→マインドクリアリングで右脳・左脳のバランス 5(合)→最後はゲーでヨシ！ 全員合格祈ります！

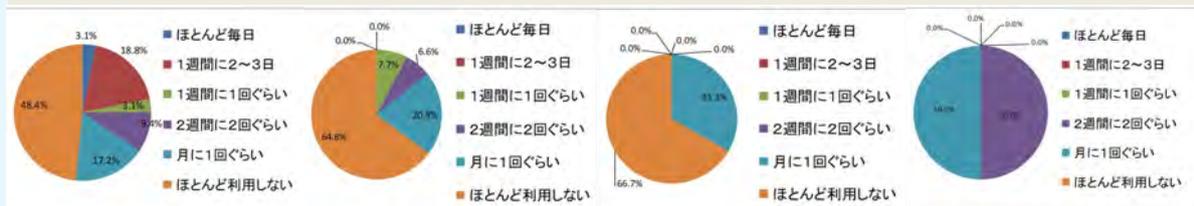
2020.1 学長 *A. Iijima*

令和2年度 図書館アンケート結果報告



全学生を対象にmanaba（マナバ）を利用して実施したアンケートについて、結果の一部をお知らせします。
（回答者164名・回収率29.0%）（左から人間学部、看護学部、大学院、別科）

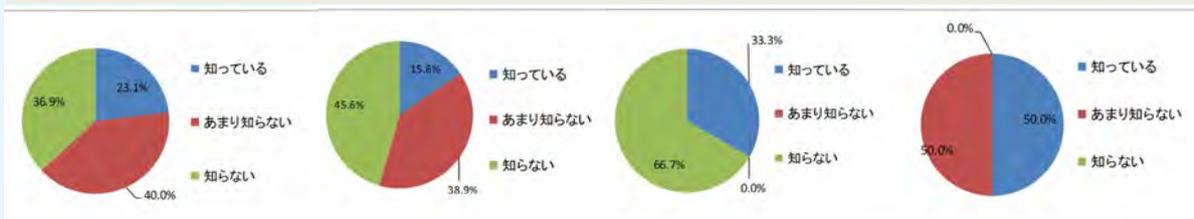
Q.2 図書館の利用頻度



人間学部 n=65 看護学部 n=91 大学院 n=3 別科 n=2

「図書館をほとんど利用しない」が、昨年度 人間：42.0%、看護：37.6%、大学院：0.0%、別科：0.0%より増加その理由で多かったのが、「不便を感じない」、その他にコロナの影響を受け、学校に行く機会が減ったこと等

Q.16 学生図書委員の活動



人間学部 n=65 看護学部 n=91 大学院 n=3 別科 n=2

コロナ禍での学生図書委員会の新たな取り組みや提案

対面での委員会→Zoomでのオンライン委員会

対面での書店による展示販売→書店より見本図書を預かり、図書館が学生と書店との間に入り、販売を実施



図書館への要望・意見



利用時間



・図書館を利用出来る時間を増やして欲しいです。

図書館より回答

図書館の利用制限を変更し、国試対策や卒業研究、大学院受験対策などで利用される対象の方には、別途利用制限を設け、図書館をより長く利用できるようになりました。

貸出冊数



・現在の学部生5冊の貸出冊数を10冊に増やして欲しいです。

図書館より回答

図書館では、多くの学生が図書を利用できるよう学部生は、5冊にしています。今年度、電子ブックを重点的に購入しましたので、貸出冊数を気にしないで、利用することが出来ます。また、長期貸出し期間中は、10冊利用出来ますので、ぜひ、その機会にご利用ください。

今年度のアンケート結果は、コロナ禍での学生の図書館利用について伺ったもので、例年とは少し違ったものとなりました。また、図書館の利用制限があるなかで、利用したくても利用出来なかった学生の様子がよく分かり、それを改善する為に、図書委員会を中心に行動できるきっかけにもなりました。コロナ禍のなか、貴重な時間を図書館アンケートにご協力頂きまして、ありがとうございました。

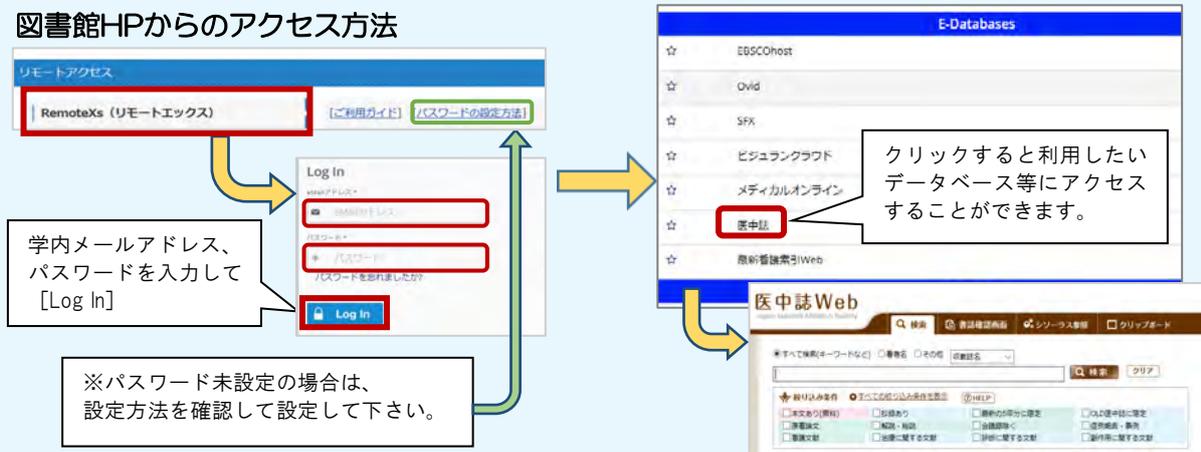


リモートアクセスを活用しよう！



令和2年10月にリモートアクセス【RemoteXs（リモートエックス）】を導入しました。学内のネットワークにつながるパソコン等でしかアクセスできなかった医中誌・メディカルオンライン等のデータベースや電子ブックに、スマホや学外からでもアクセスしていただけるようになりました。ぜひご利用ください。

図書館HPからのアクセス方法



令和2年度 学生図書委員・図書委員会メンバー

図書館職員と図書館学生アルバイトからの一言メッセージ



<学生図書委員からの一言メッセージ>

- ・家で読書の時間を増やしてみませんか？
- ・図書館の豊富な情報やサービスがとても便利なのでどうぞご利用ください。ぜひぜひ！
- ・本を沢山読んで脳を活性化させよう！！
- ・コロナ禍の今だからこそ、少しでも本の世界に触れて新たな価値観や知識を探求しましょう！
- ・図書館では、本を読むだけでなく静かな環境で勉強もできますので是非ご利用ください。
- ・今こそ、物語の旅を楽しんでみませんか？きっと新たな世界があなたを待っている！

人間学部 2年 北川 真羽
 人間学部 4年 周 暁妍
 看護学部 1年 片岡 伶衣
 看護学部 1年 林 奏空
 看護学部 2年 植西 諒
 看護学部 4年 佐藤 綾子

<図書委員会メンバーからの一言メッセージ>

- ・大いに成長する早道は読書にある
- ・読書は想像力を鍛えます。ぜひ、好きな本を迷わず手にとってください。
- ・図書館では、読書するもよし、勉強するもよし。本は人生を豊かにしてくれると思います。
- ・リモートアクセスで、図書館の電子コンテンツを活用しよう。

人間学部教授 李 艶
 人間学部准教授 脇本 忍
 看護学部講師 井之口文月
 図書館司書 山川 直美

<図書館職員からの一言メッセージ>

- ・スマホやご自宅のPCからも文献検索や電子ブックが読めるリソースも、ぜひご利用下さい。
- ・図書館外でも、電子ブックが読めますので、ぜひ、ご利用ください。

図書館司書 加納 香織
 図書館職員 宮川 喜秀

<図書館学生アルバイトからの一言メッセージ>

- ・空いた時間に図書館でパソコンを借りて課題をするのも良いですよ～
- ・たくさんの資料とパソコンの貸出を行っています。勉強をする時にぜひ活用して下さい。
- ・静かな環境なので集中して勉強ができます。ぜひ、ご利用ください。
- ・図書館は静かでたくさんの本が揃っています。皆さんもぜひご利用ください。

人間学部 1年 三上耀太郎
 人間学部 2年 里村 龍
 人間学部 4年 岩永 朱音
 看護学部 1年 濱千代 萌



図書館職員

ご来館をお待ちしております。



The Seisenians No.35：聖泉大学図書館広報
 発行日：2021年3月1日
 編集・発行：聖泉大学図書館
 〒521-1123 彦根市肥田町720番地
 Tel.0749-43-7513 Fax.0749-43-5201
 E-mail:library@seisen.ac.jp